



製薬協

報道関係者 各位

2023年12月21日

日本製薬工業協会

製薬協「第17回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査」について

このたび、日本製薬工業協会（以下、製薬協）は、本年度実施した「第17回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査（以下、本調査）」の調査結果報告書を、製薬協ウェブサイト上に公開いたしましたので、お知らせします。

第17回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査

https://www.jpma.or.jp/news_room/issue/survey/index.html

本調査は、医療用医薬品や製薬産業に対する生活者の理解や認識の実態を把握し、製薬協の広報活動を実施する上での基礎資料とすることを目的としています。1996年に開始し、2014年からは毎年調査を継続して、今回が17回目となります。

今回の調査結果によると、製薬産業への信頼度は88%となり、これまで同様高い水準にあることが示されました。また製薬産業のイメージにおいても「社会的に必要性が高い産業」、「技術力が高い産業」といった肯定的な回答が上位となっています。また、医療データ制度については「知っている」と回答した割合が55%であり、さらに製薬企業に当該データを「活用して欲しい」とした割合は70%の高水準となりました。これらは新薬開発や安全性の高いくすりを生み出すための製薬産業の活動に対する患者さんを含む生活者の皆さんの高い期待の表れと考えています。（第2章 製薬産業のイメージと期待、活動への認知）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック、With/After COVID-19という社会生活において、引き続き、治療薬やワクチンの必要性や医薬品の安定供給という製薬産業の使命を果たすことが求められています。パンデミックを経て「健康・くすり・医療への考え方」が変化したという回答の割合は34%あり、そのうち65%が「健康意識が高まった」と回答されています。（第3章 生活者の健康とくすり・医療とのかかわり）

ステークホルダーズの皆さんからの期待に応え、変革する社会情勢の中でも引き続き信頼をいただけるよう本調査結果も最大限に活用し、今後も製薬協活動の推進に努めて参ります。

以上

本件に関する問い合わせ先

日本製薬工業協会 広報部 TEL 03-3241-0374

<別紙>

2023年12月21日

「第17回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査」概要

日本製薬工業協会
広報委員会

1. 調査目的

医療用医薬品や製薬産業（会社）に対する患者・生活者の理解や認識の実態を把握し、医薬品や製薬産業に対する理解・信頼感を高めるための広報活動の基礎資料とする。

2. 調査概要

- (1) 調査地域 首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）
近畿圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県）
- (2) 対象 満20歳以上の男女（ただし、医療関係者・製薬企業従事者等は除く）
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 調査方法 インターネット調査
- (5) 調査期間 2023年（令和5年）9月12日
- (6) 調査機関 GMOリサーチ株式会社

3. 調査結果の要約（※カッコ内は昨年度との比較）

第1章 処方薬の情報とイメージ

- (1) 処方薬についての説明
 - ・説明実施率 91.4%（1.1ポイント減）
 - ・説明満足度 93.3%（0.1ポイント減）
 - (2) 処方薬の使用実態
 - ・肯定層 96.0%（0.9ポイント減）
【「指示どおり飲んでいる」68.6% + 「まあ指示どおり飲んでいる」27.5%】
 - (3) 副作用の経験・認知
 - ・副作用経験率 28.8%（1.4ポイント増）
 - ・副作用関心層 51.5%（1.5ポイント増）
 - (4) 薬価に対する考え方
 - ・「高いと感じる」 39.4%（1.4ポイント減）
 - ・「妥当な値段」 32.7%（1.1ポイント増）
 - ・「意識したことはない」 21.1%（1.9ポイント減）
- 処方薬の値段決定方法
- ・「知らない」 57.0%（1.3ポイント減）
 - ・「国が決める公定価格」 29.3%（0.1ポイント減）

(5) ジェネリック医薬品の認知

・「新薬」と「ジェネリック医薬品」の認知率	84.1%	(1.3 ポイント減)
選択意向 「ジェネリック医薬品」	53.0%	(0.6 ポイント減)
「医師・薬剤師にまかせる」	32.5%	(0.8 ポイント増)
「新薬」	10.8%	(0.8 ポイント減)
選択理由 「ジェネリック医薬品」:		
「価格」	80.7%	(5.4 ポイント減)
「品質」	26.9%	(2.4 ポイント増)
「信頼」	27.0%	(1.3 ポイント増)
「新薬」:		
「品質」	80.7%	(2.0 ポイント増)
「信頼」	74.6%	(8.1 ポイント増)
「価格」	8.8%	(2.9 ポイント減)

(6) 処方薬のイメージ

・「総合的にみて処方薬は信頼できる」肯定層	85.9%	(1.5 ポイント減)
-----------------------	-------	-------------

第2章 製薬産業のイメージと期待、活動への認知

(1) 製薬産業のイメージ

・製薬産業への信頼度	88.0%	(0.5 ポイント増)
イメージ上位		
・「社会的に必要性が高い」	92.0%	(1.3 ポイント減)
・「技術力が高い」	92.0%	(0.7 ポイント減)
・「研究開発に熱心」	88.1%	(0.3 ポイント減)
イメージ下位		
・「自然環境を守ることに熱心」	48.7%	(0.6 ポイント増)
・「情報の提供に消極的」	50.8%	(1.2 ポイント減)
・「消費者の声が届かない」	52.4%	(0.3 ポイント増)

(2) 製薬産業や製薬会社の認知意向

・メーカー名の認知意向「知りたい」	55.7%	(1.8 ポイント減)
理由上位		
・「知っている」と安心	77.7%	(1.0 ポイント減)
・「副作用が起きた時のため」	38.1%	(1.7 ポイント減)
製薬会社からの情報入手意向		
・「入手したい」	71.8%	(2.3 ポイント減)
製薬会社から入手したい情報上位		
・「処方された薬の情報」	74.2%	(1.1 ポイント減)
・「薬の基本知識」	46.5%	(1.5 ポイント減)
日本製薬工業協会（製薬協）の認知		
・認知率	18.9%	(4.1 ポイント減)
[「知っている」3.6% + 「見聞きしたことはある」15.4%]		

(3) 新薬開発、治験についての認知、考え方

新薬開発についての意見

意見上位

- ・「資源が少ない日本にとって新薬開発は必要」 91.8% (0.5 ポイント減)
- ・「長い年月や費用をかけても新薬開発は必要」 91.8% (0.4 ポイント減)

意見下位

- ・「欧米が進んでいる。日本がやることはない」 22.2% (0.4 ポイント減)

治験の認知度

- ・「認知層」 90.6% (1.1 ポイント減)
[「ある程度知っている」 41.7% + 「言葉は知っている」 48.9%]

治験期間の認知

- ・「知らない」 53.0% (4.6 ポイント増)
- ・「3～7年」 34.1% (3.7 ポイント減)

治験総費用の認知

- ・「知らない」 60.6% (6.6 ポイント増)
- ・「数千億円以上」 22.3% (12.4 ポイント減)

治験への参加意向

- ・「参加してもよい」 29.4% (2.1 ポイント減)
- ・「参加したくない」 41.9% (5.2 ポイント増)

理由

- ・肯定層「社会の役に立つ」 67.1% (0.3 ポイント増)
- ・否定層「副作用のリスクが怖い」 57.8% (3.4 ポイント減)

(4) 医療データの利活用

「医療データがあなたの同意の下、他の医療機関や介護の場面で、医療関係者に開示・閲覧できるようになることを知っていますか？」

- ・医療データ制度の認知率：「知っている」 54.6% (3.6 ポイント増)

開示意向 ※認知者ベース [認知者を 100 とした割合]

- ・「メリットがあるので開示したい」 23.2% (2.4 ポイント増) [42.5%]
- ・「医療データ開示は躊躇する」 9.6% (0.7 ポイント減) [17.6%]
- ・「どちらとも言えない」 21.8% (1.8 ポイント増) [39.9%]

「製薬企業が新薬開発や、薬の安全性などを確認するために、あなたの医療データをプライバシーに配慮して活用されることをどう思いますか？」

- ・「活用して欲しい」 69.7% (1.8 ポイント減)
- ・「活用してもらいたくない」 9.8% (2.8 ポイント増)
- ・「よくわからない」 20.6% (0.9 ポイント減)

(5) 産学連携に関わる費用についての認知、考え方

製薬会社から業務連携先への研究開発に関わる費用の支払いについて

- ・支払いについての認知率 36.0% (2.9 ポイント減)
- ・支払い情報を公開していることの認知率 19.5% (0.3 ポイント増)
- ・支払情報公開についての評価率 67.6% (1.3 ポイント増)

第3章 生活者の健康と薬・医療とのかかわり

(1) 健康状態と受診経験

- ・「健康層」73.0% (0.2 ポイント減)
[「非常に健康」11.3% + 「まあ健康(普通)」61.7%]
- ・「受診経験層」69.2% (4.9 ポイント減)
[「入院・通院」17.3% + 「入院」1.4% + 「通院」50.6%]
- ・処方薬の服用「ある」88.4% (増減なし)

(2) かかりつけ薬局・おくすり手帳

- ・かかりつけ薬局「ある」 35.9% (1.2 ポイント増)
- ・おくすり手帳 「持っている」76.5% (0.6 ポイント減)

(3) くすり相談窓口の認知

- ・くすり相談窓口の認知率 19.0% (1.4 ポイント減)
- ・利用率(認知者ベース) 13.2% (0.9 ポイント減)
- ・対応満足度(利用者ベース) 91.2% (4.5 ポイント減)
[「とても満足」42.1% + 「まあ満足」49.1%]
- ・問い合わせ内容上位:「効能・効果」、「副作用」、「成分・特徴」

(4) 健康と薬・医療にかかわる用語の認知

6つの用語に関して「認知率」、「問題意識(言葉の意味を見てどう思ったか)」を調査
※認知率 = 「知っている」 + 「見聞きしたことはある」

問題意識 = 「身近な問題として意識」 + 「知らなかったが重要な問題」

・「健康寿命」	・・・	認知率	70.7% (2.8 ポイント増)
		問題意識	69.8% (1.2 ポイント減)
・「AMR(薬剤耐性)」	・・・	認知率	25.6% (1.8 ポイント増)
		問題意識	59.4% (1.7 ポイント減)
・「ポリファーマシー(多剤併用)」	・・・	認知率	21.2% (0.3 ポイント増)
		問題意識	57.3% (1.4 ポイント減)
・「患者参画」	・・・	認知率	15.3% (1.4 ポイント増)
		問題意識	48.9% (1.6 ポイント減)
・「ドラッグ・ラグ/ドラッグ・ロス」	・・・	認知率	17.6% (5.2 ポイント増)
		問題意識	57.5% (1.7 ポイント減)
・「創薬エコシステム」	・・・	認知率	10.5% (0.5 ポイント増)
		問題意識	49.0% (2.0 ポイント減)

(5) 医療費・医療保険についての考え方

医療費の国民負担

- ・「負担、質が変わらないよう望む(負担→、質→)」 48.8% (4.6 ポイント増)
- ・「負担が増えても、質の高い医療を望む(負担↑、質↑)」 18.7% (4.0 ポイント減)
- ・「質が下がっても、負担増は望まない(負担↓、質↓)」 7.2% (2.5 ポイント減)

医療保険制度

- ・「国民皆保険制度の継続を望む」全体 . . . 59.7% (0.4 ポイント減)
 - ✓ 年代別 20代 . . . 36.1%
 - 70代以上 . . . 78.6%
- ・「財源や給付の見直しは必要」 . . . 30.2% (4.4 ポイント減)
- ・「どのような制度になろうと、国民の負担増は反対」 . . . 12.7% (0.5 ポイント増)
- ・「米国のように個人が選べる民間保険にして欲しい」 . . . 4.7% (0.3 ポイント減)

(6) コロナ禍における健康についての考え方

- ・コロナ禍による「健康・薬・医療への考え方」の変化率 34.1% (4.9 ポイント減)
変化率 = 「変わった」11.4% + 「やや変わった」22.7%

変化内容 (変化者ベース)

- ・「健康意識が高まった」 . . . 65.0% (1.8 ポイント減)
- ・「病気の予防意識が高まった」 . . . 61.9% (2.3 ポイント増)
- ・「医療従事者への感謝の気持ちが高まった」 . . . 35.5% (5.3 ポイント減)
- ・「日本製の薬やワクチンが必要だと感じた」 . . . 28.3% (9.5 ポイント減)
- ・「国の医療政策に関心を持つようになった」 . . . 19.6% (3.0 ポイント減)
- ・「日本製の薬やワクチンは不要だと感じた」 . . . 3.1% (1.2 ポイント増)

以上